三陸沿岸道路
(仮称)気仙沼湾横断橋

小々汐だより

平成29年2月発行
第10号

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
工事の現況などについてお知らせいたします。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL：0226-25-5661　FAX：0226-24-3341
※現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい（担当：小室）

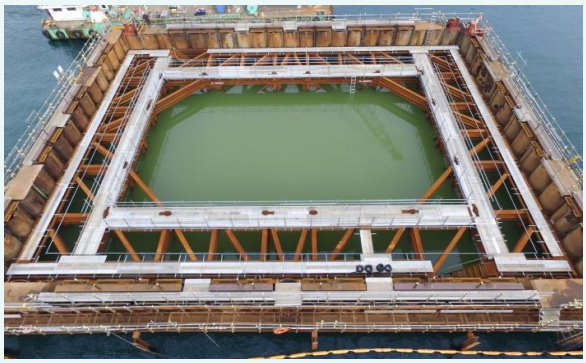
工事現況

間詰コンクリートブロックを設置しています

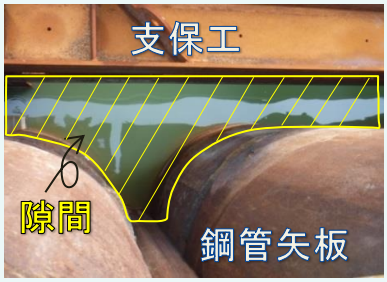
P12橋脚部では2016年１２月２６日にトラス支保工の架設作業が完了しました。現在は、写真①、②のように支保工と鋼管矢板との隙間を埋める間詰コンクリートブロックを水中で設置する作業を行っています（コラム参照）。２月１１日時点で全４３２箇所のうち１５４箇所の設置が完了しました。

今後は、いよいよ井筒内の水を抜く作業が始まり、春ごろには気仙沼湾に縦30m・横40m・深さ25mの大空間が出現する予定です（＝井筒内のドライアップ完了）。また、いよいよA2橋台の工事にも着手していきます。

これからも海上での工事が続きますので、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参ります。引き続き、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



トラス支保工据付完了状況



①支保工設置状況

②間詰コンクリートブロック設置状況

③水中モルタル注入状況

コラム

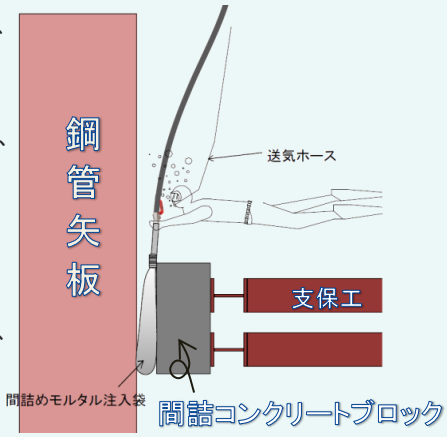
～どうやって水中に間詰コンクリートブロックを設置するの？～

鋼管矢板は円柱状のため、支保工との間に隙間が出来てしまい、このままだと十分に圧力に耐えることができません。そのため、隙間をコンクリートで埋めることで、外部からの圧力が均等に支保工に伝わり、鋼管矢板が変形するのを防ぐことができます。これを『間詰コンクリートブロック』と呼んでいます。当工事では、このコンクリートを全４３２箇所設置していきます。

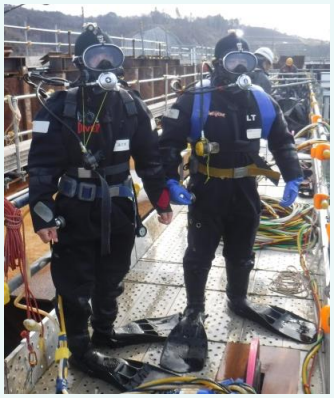
水深が深く（最大19m）、視界の悪い中での作業となりますが、そんなときに活躍するのが水中作業のスペシャリストである『潜水士』です！彼らが右図のように水中に潜り、支保工と鋼管矢板の間にコンクリートを設置していきます。

水中での作業で特に注意しなければいけないのは、『減圧症』と『低体温症』です。一日に潜れる時間を制限*)するだけでなく、当工事の潜水士の潜水服は、内部で常に温水が巡り、身体を冷やさない工夫がなされた優れものです。水中作業は目に見えませんが、プロフェッショナル達が日々頑張ってくれています！

*)…深さにもよりますが、水深19mでは100分しか潜れません。



水中作業イメージ



水中のプロフェッショナルたち
(㈱渋谷潜水工業)

工事予定

現場HP更新！

クールでおもしろい仕事
おもしろ物語@工事現場